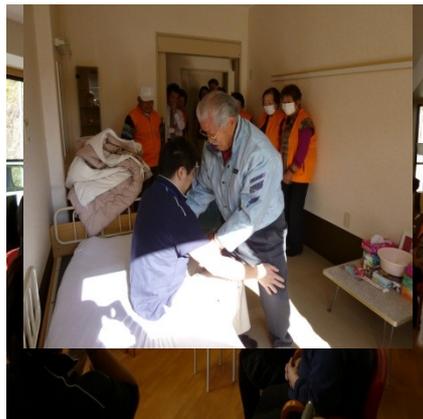


平成23年11月16日  
社会福祉法人 大和福寿会  
グループホームももせやすらぎの里  
管理者 鈴木弥生

## 平成23年度 第1回やすらぎの里運営推進会議



平成23年11月16日 ももせやすらぎの里において第1回運営推進会議として「地震発生による火災訓練及び地域との連携による炊き出し訓練」を行いました。参加者は、入居者様代表者とご家族様、塩釜市防災課様、塩釜市長寿社会課様、塩釜市消防署様、北部地域包括支援センター様、千賀の台町内会様、清水沢・伊保石町内会様、やすらぎ職員、管理者計63名様にご参加頂きました。



まず始めに、千賀の台町内会の皆様に豚汁の炊き出し、ご家族様におにぎりを作っていただき、並行して防災訓練を行いました。1番地の避難訓練を地域の皆様のご協力のもと無事終了することが出来ました。消火訓練には皆様に参加して頂きました。その後、地域の皆様を対象にベッドから車椅子への移乗訓練をおこないました。

訓練後の意見交換会では、塩釜市防災課様より震災をうけて現在の防災計画の見直しや地域との馴染みが大切なのだと改めて思われた。塩釜市長寿社会課様よりグループホームを通じて皆様と会えるということも一つの縁である。皆様の協力が大切なんだと通感いたしました。北部地域包括支援センター様より避難先のしおりより我が家のやすらぎに戻られ安堵されていると思います。千賀の台町内会長様より今回の震災では、市よりの物資が十分ではなく要請に伺ったが、市役所も被災しておりその状況の悲惨さに言葉を失ってしまいました。これからも町内会と密着して協力していくしかないのではないか。町内会にある携帯式の担架を当施設でも分けて常備しておくようにお言葉を頂きました。家族会副会長様より地域の方への感謝のお言葉をいただきました。人間にしかない機能として、危機管理に対するパニックを軽減するための正常化バイアスが備わっておりますがそれに逆らい直ぐに逃げていただきたいと思います。

最後に当ケアマネより7ヵ月ぶりに戻り地域とご家族に見守られ元の状態を取り戻しつつあります。今回お忙しい中皆様にご参加頂き誠にありがとうございました。